

順造選

順造選

お伝えしたいこといっぱい…の気持ちをこめて。

順造選ショップ
2017年2月号 vol.54

無料配信(郵送)をご希望の方は
0120-103-712
FAX.06-6443-2025
http://www.junzosen.com/
〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目18-5

ワインの話

ワイン程、値段のある酒類はありません。小売500円~300万円近く迄あるのですからね。「1000円のワインと10万円のものとは何が違うのですか?」「1本100万円も200万円もするワインは同じような葡萄で作るのに何故そんなに高くなるのですか?」等とよく尋ねられます。

いろんな理由がありますので、簡単に書いてみましょう。

①まず葡萄が植わってある土壌の質が違うし、その為に畠地の値段も格段の差があります。

②高いワインの葡萄の収穫量(単位面積当たり)は安いワインの収穫量の1/4、1/5と少ないので…。

③高級ワイン用の葡萄の樹齢は40年位と高齢のため収穫量が少なく、安いワインの葡萄の樹は若くて元気なので収穫量は段違いに多い。

④高いワインの葡萄の選果作業は、大変厳しく、果実味を凝縮させるために完熟した葡萄だけを残し、また1本の樹の房数も減らし、より美味しい実に育て上げていきます。

最高級のフランスワインになると1本の樹に5~6房の葡萄しか残さないと言われています。

⑤同じ葡萄栽培畠地では、葡萄の熟成最適ピッキング日も同じようになってきますので、葡萄を摘むピッカーの確保が重要な課題になります。

まず、高級ワインを作るワイナリーが最も高い労賃を払って、最も熟練したピッカーを確保します。従ってピッキングコストも一番高くなります。

安いワインのワイナリーほど、高い労賃を払えないで、最適ピッキング時期にピッキングが出来ず、葡萄の質も落ちます。

⑥高級ワインは有名なワイン専門家の高評価を得て売れますが、その上、生産本数が少なく、希少性もあり、高い値段が付きます。

このように様々な要因が重なりあって値段が決まっていきます。一般的には高い値段のワイン程美味しいと言われるのはそのようなところからきています。

はや一月がやつてきた…!
この月、感動一杯、力一杯生きたか?
仕事できたか?と自問する。
出来た!と自答。
面白い月のスタートであった。
若い人達に励まされ、ケツを叩かれ、
未知の仕事にもぐり込み、盛り上がり、
燃え上がり、持ち前の好奇心一杯もつて仕事ができました。
八年、生きてきたのだ!
やれない筈がない!という自信と覚悟。
使っているPCもiPAD、iPHONE
も活躍。MACBOOKを買って気分を新してみようと思う。
若い連中と同じ武器を持って闘つてみよう。弱点がすぐ分るのが良いです。頭は1mmたりともボケていない。
経験は彼等より数倍ある!

モノを観る目も彼等より広く、深いが、新しい情報量では劣る事を認め、教えを乞う。こんな気概を持つて一月は進めましたが、どうでしょう?皆さんの多くは私より若い筈です。私はできるのですから、皆さんは私以上にできますよ。素晴らしい!

谷本景さんからの便り

昨秋、伊賀上野で作る陶芸家、谷本景さん夫妻が私宅に来られ、その翌日、左記の文章を送つてこられました。

「今日は紅葉を見に来ないかとお誘いがあり、素敵なお庭とお話を楽しんだ。

作り過ぎない
植え過ぎない
見せようとし過ぎない
手入れし過ぎない
自然に見せ過ぎない
過ぎない事が:
こんな境地に成れるって…」

北海道・道東の旅

◎北の自然に感動!感激!

中部の広々とした牧草地に点のよう見える牛達やコーン畑、斜里地方はジャガイモ畑。いずれも広大な緑の畑は気持ちを広々とさせてくれます。北海道・道東ならではの風景をチョイチヨイ車を止め眺めています。ホッとします。

◎反対に人工物、建物はデザイン性はなく、醜悪で情けなくなりました。こんな素晴らしい風景がパックにあります。それにマッチした景色を人間は作られないのかと行く先々で思つたことはあります。これができたら北海道は今この何倍も美しい感動的な姿を見せてくれる筈です。

◎7日間、道東を車で走りましたが休む所がない、カフェもない、スーパーもコンビ二もなく、1~2時間走れば一寸休める場所が欲しいですね。

◎しかし、村のような所には必ず「道の駅」はあるのですが、これがまたどうしようもない所で、お客様を楽しませよう。喜ばそうという配慮は全くないのです。並べてあるものも、買う気にもならないのがバラバラと並べてあるだけ。何の為にこの建物はあるのだろう?

これは北海道の行く先々ですべての面で感じました。補助金でやつていると人間考えなくなるのだ。折角、素晴らしい自然があるのに勿体ないなあ!!!

「虫眼とア一眼」

あなたに感動の一冊
本便り

養老孟司・宮崎駿 虫の養老さんとアニメの宮崎さんの素晴らしい対談集です。こんな風に見、このように考えると自分の世界も広がるなあ!物事を広く、深く観る、考える原点を教えられます。小さな文庫本ですが、中身は素晴らしい、感動一杯の本です。

おすすめの音色 CD

CHOPIN MAZURKAS VALERY ALABASHIEV

至言

バフェット氏

「価格とは何かを買う時に支払うもの価値とは何かを買う時に手に入れるもの」

言ひえて妙ですね。
なんでもない言葉のようですが、何回もいつ読んでも、いろいろ考え方をせられ、価値あるものを提供できているかと自問自答させられます。

「価格とは何かを買う時に手に入れるもの」

言ひえて妙ですね。
なんでもない言葉のようですが、何回もいつ読んでも、いろいろ考え方をせられ、価値あるものを提供できているかと自問自答させられます。

順造さんの旅日記

◎北の自然に感動!感激!

北海道・道東の旅

(2)



「ショパン・マズルカ集(十三曲)」
ヴァレリー・アナニエフ

出だしの「イ短調作品十七の四」のゆっくりスローなピアノの音色、胸がときめきドキドキしてきます。鬼才ピアニストと言われるこの人の音の運びはちょっと違います。CDの帯には「绝望と悲惨と荒々しさに満ちた。」とありますが、どうなのかな??それと同時に、生まれたことがあります。見たこともないこの人が、乗移つて見え

